

2年 確率

_____年 _____組 _____番 氏名 _____

1. にあてはまる言葉，数または式を書きなさい。
- (1) 多数回の実験の結果，あることがらの起こる が一定の数値に近づくととき，その数値をそのことがらの起こる確率という。
- (2) 起こり得る場合が全部で n 通りあり，そのうち，あることがらの起こる場合が a 通りあり，どのことがらも起こる場合も同様に確からしいとき，そのことがらの起こる確率 p は となる。例えば，さいころを投げたとき 1 の目の出る確率は，さいころの目の出方は同様に確からしく 通りであることから，その確率は となる。
- (3) あることがらの起こる確率を p とすると， p の範囲は $\leq p \leq$ となる。

2. 大きさの異なる大小 2 つのさいころを同時に投げて出た目をかけあわせませす。一番出やすい数はいくつですか。”確率”という言葉を使って説明しなさい。

<考え方>

3. 当たりが 2 本，はずれが 3 本入っているくじがあります。このくじを，A が先に 1 本引き，次に B が 1 本引きます。このことについて以下の問いに答えなさい。ただし，引いたくじは元に戻さないものとします。
- (1) A が当たりを引く確率を求めなさい。
- (2) 先に引く A と後に引く B ではどちらの方が有利ですか。樹形図を作り，”確率”という言葉を使って説明しなさい。

(1)	
(2)	

4. A, B, C, D, E の 5 人の中から，班長，副班長を 1 人ずつ選ぶとき，A が班長または副班長になる確率を求めなさい。考え方も書きなさい。

<考え方>

5. 4 人それぞれが持ち寄ってプレゼントの交換を考えています。誰が持ってきたかわからないようにして各自でプレゼントを選びます。このとき 4 人全員が自分が持ってきたプレゼントではない確率を考え方を記述し求めなさい。ただしどのプレゼントを選ぶのかは同様に確からしいとします。

<考え方>